

ドラクシンは新たに、 Hpsへの有効性が認められました。

ヘモフィルス
パラスイス

4菌種に1剤1回投与で効果を発揮します。

App

アクチノバチルス
ブルロニューモニエ

Hps

ヘモフィルス
パラスイス



Mhp

マイコプラズマ
ハイオニューモニエ

Pm

バクテラ
ムルトシダ

動物用医薬品 要指示 指定 抗生物質注射剤



ドラクシン25 ドラクシン

zoetis



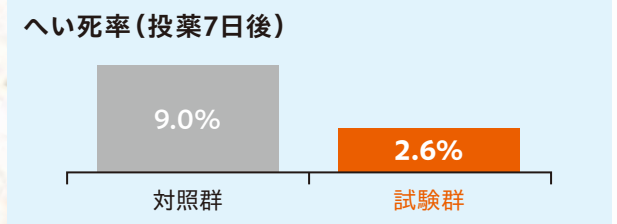
1回投与で、長く効く。 試験結果が証明しています。

豚用マクロライド系抗菌剤でHpsへの有効性が認められているのはドラクシンだけです。
肺炎を引き起こす他の菌種 (App、Pm、Mhp) にも有効で、これら4菌種を1剤1回投与で治療が行なえます。

Hpsを含む細菌性肺炎に対する有効性 (野外臨床試験結果) (申請資料)

1. 一次治療薬としての試験

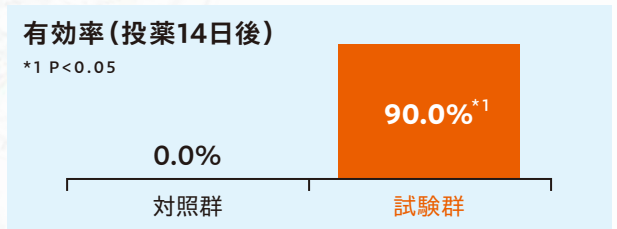
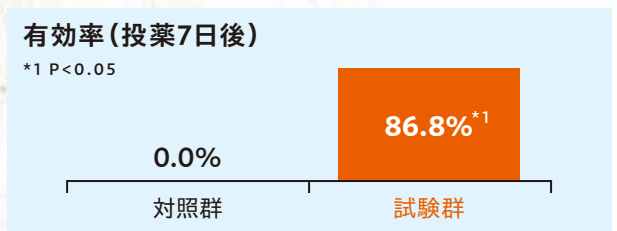
	被験薬	頭数
対照群	生理食塩水	267
試験群	ドラクシン 2.5mg/ 体重 kg	266



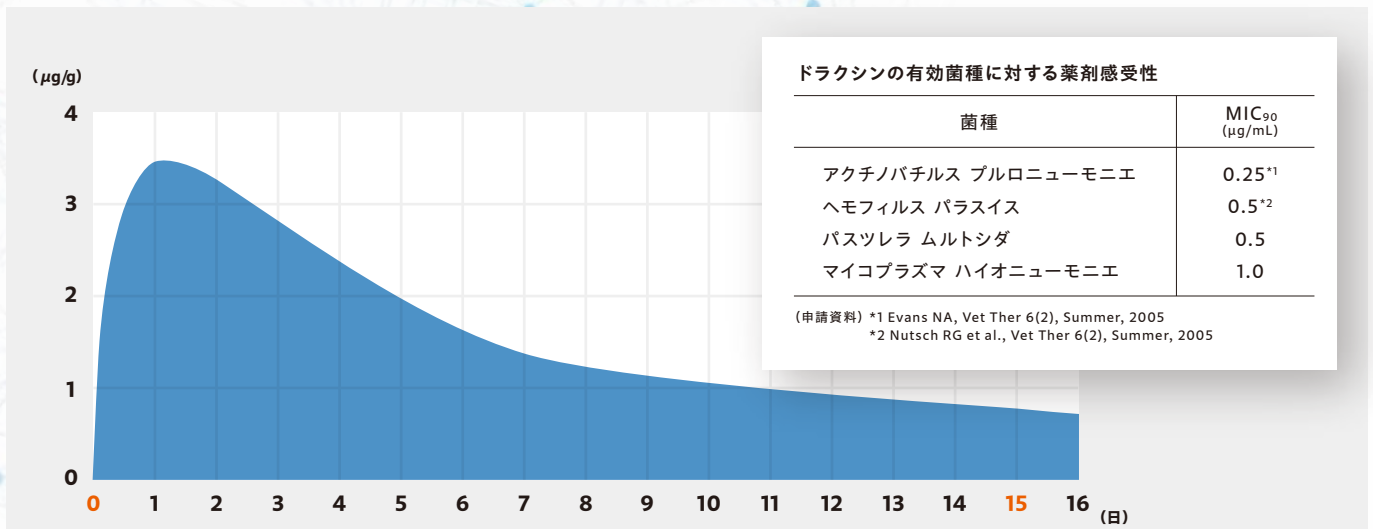
2. 一次治療薬が無効の症例に対する試験

一次選択薬 (注射)
オキシテトラサイクリン LA 剤 (単回投与) もしくは ペニシリン G (1日1回、3日間投与)
初回投与から4日目に群分けし、下表被験薬を投与

	被験薬	頭数
対照群	生理食塩水	37
試験群	ドラクシン 2.5mg/ 体重 kg	38



ドラクシンの主成分であるツラスロマイシンの肺組織内濃度



ドラクシンの有効菌種に対する薬剤感受性

菌種	MIC ₉₀ (μg/mL)
アクチノバチルス プルロニューモニエ	0.25 ^{*1}
ヘモフィルス パラスイス	0.5 ^{*2}
パスツレラ ムルトシダ	0.5
マイコプラズマ ハイオニューモニエ	1.0

(申請資料) *1 Evans NA, Vet Ther 6(2), Summer, 2005
*2 Nutsch RG et al., Vet Ther 6(2), Summer, 2005